

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会	会議場所	第1委員会室
		担当職員	八木
日 時	平成24年3月22日(木曜日)	開 議	午後 5 時 00 分
		閉 議	午後 5 時 10 分
出席委員	眞継 酒井 苗村 山本 竹田 吉田 中澤 欠席:立花 明田		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	議員 - 名( )

## 会 議 の 概 要

### 1 意見書案の確認

#### 眞継委員長 意見書案朗読

##### < 中澤委員 >

世代内との表現は一般的でないと感じるが。

##### < 吉田委員 >

介護施策が所得の多寡に影響されないことを意味するならばあり得る表現である。所得に応じた負担をすることということである。「若年層」の語が用いられた方が望ましい。また、低所得者への配慮のみならず、最も負担感の強いであろう「中間所得層」への対策も必要である。

##### < 苗村委員 >

介護保険制度は高所得者に有利である。

##### < 吉田委員 >

低所得者は既に様々な対策がされている。30～40歳代で年収400～600万円程度  
の中間所得層の負担は大きい。

##### < 酒井副委員長 >

保険料率は市で定めるものではないのか。

##### < 苗村委員 >

法の範囲があり自治体独自で裁量できる範囲が限られている。意見書としては  
「将来の安定した介護保険制度の運用を可能にする」とする点に集約されている。

##### < 吉田委員 >

「若年層」や「中間所得層」がキーワードとして使用された方が望ましかったが、  
原案を否定するものではない。

##### < 眞継委員長 >

介護保険制度は様々な課題があるが、委員会として取り組む第一歩とし、原案のと  
おり意見書を発議する。

< 全員了 >

散会 ～ 17 : 10